

マーキング業界初の ショールームを開設

山田マシンツール



山田雅夫社長

刻印機メーカーの山田マシンツールは、さいたま市のマーキングシステム事業部内に、マーキング業界では初となるショールームを開設した。公開に併せて、10月5日に、商社や関係者を集めショールームのオープンセミナーを開催した。

近年、安全性に絡んだ品質管理の観点から、各種部品製造現場では、トレーサビリティの重要性が高まり、「マーキング」「刻印」のニーズが高まっている。セミナー冒頭に挨拶に立った山田雅夫社長は、ユーザさんに最適な

設備ニーズと、マーキング機器メーカーが提供するソリューションとの間にはミスマッチがある。今般開設のセミナーでは、自社製品にとらわれず、様々なニーズに即した設備を展示することで、ユーザさんに最適な

設備を提案できる場にしたい。また、ユーザニーズをより深く捉える事で、自社のポテンシャルを一層発揮できるように努めていきたい」と話し、ユーザ目線のセミナーに育てる決意を話した。



セミナーでは、同社がネットで公開しているマーキング・刻印機の総合情報サイト「T-1のマーキング」の説明が行われた他、ショールームの見学も実施した。



旋盤加工時に、インプロセスでの刻印を可能にしたマーキングシステムの例。採用したユーザーでは社内の「設備改善賞」を受賞したという。